

エピソードと実践事例から見えてくる学校・園の果たす役割

～ 集団で学ぶ教育の場に、発達にかかわる
特性の理解をどのように生かしていくか ～

特別支援教育 巡回相談員

白ゆり保育園／白ゆり教室

石 原 忍









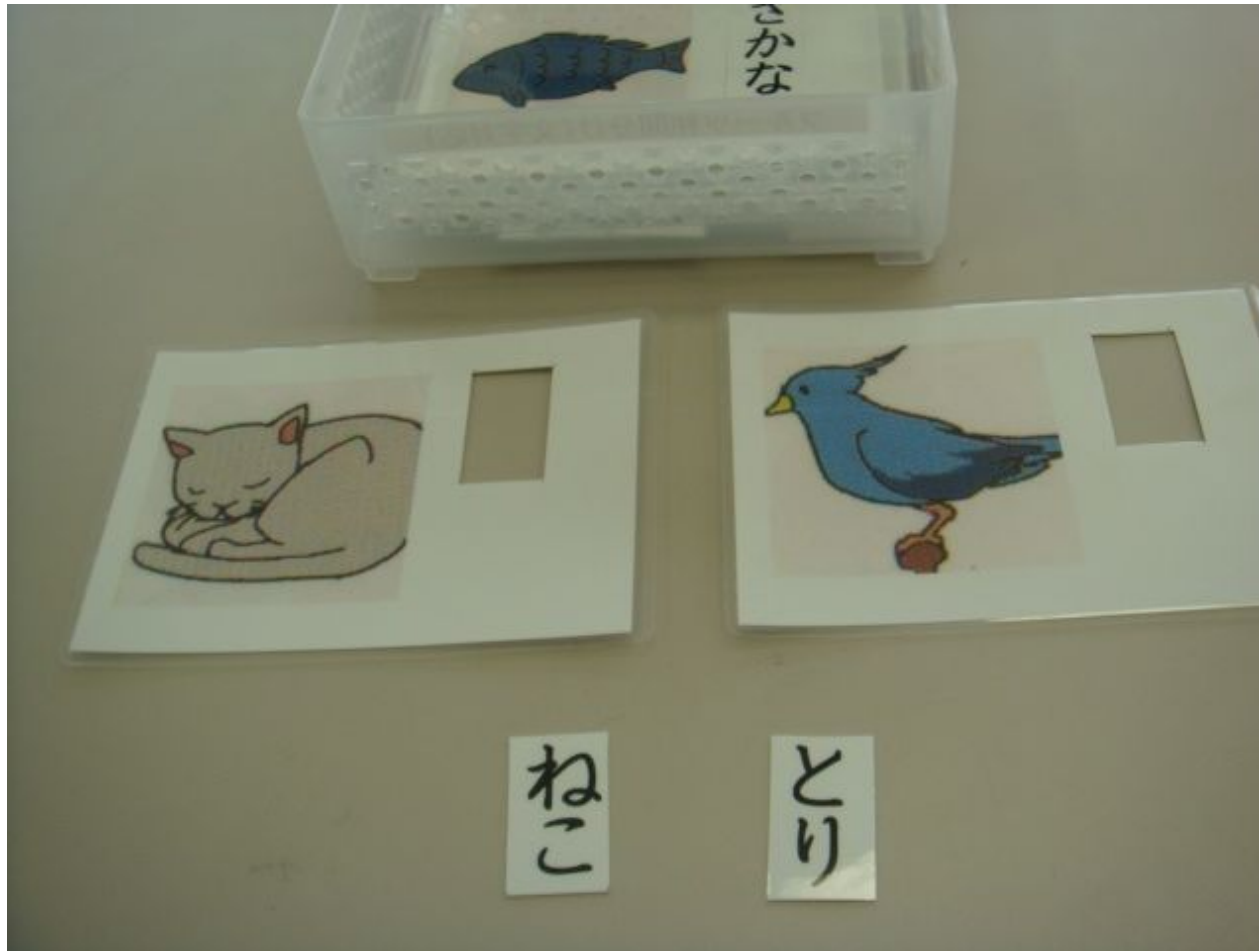


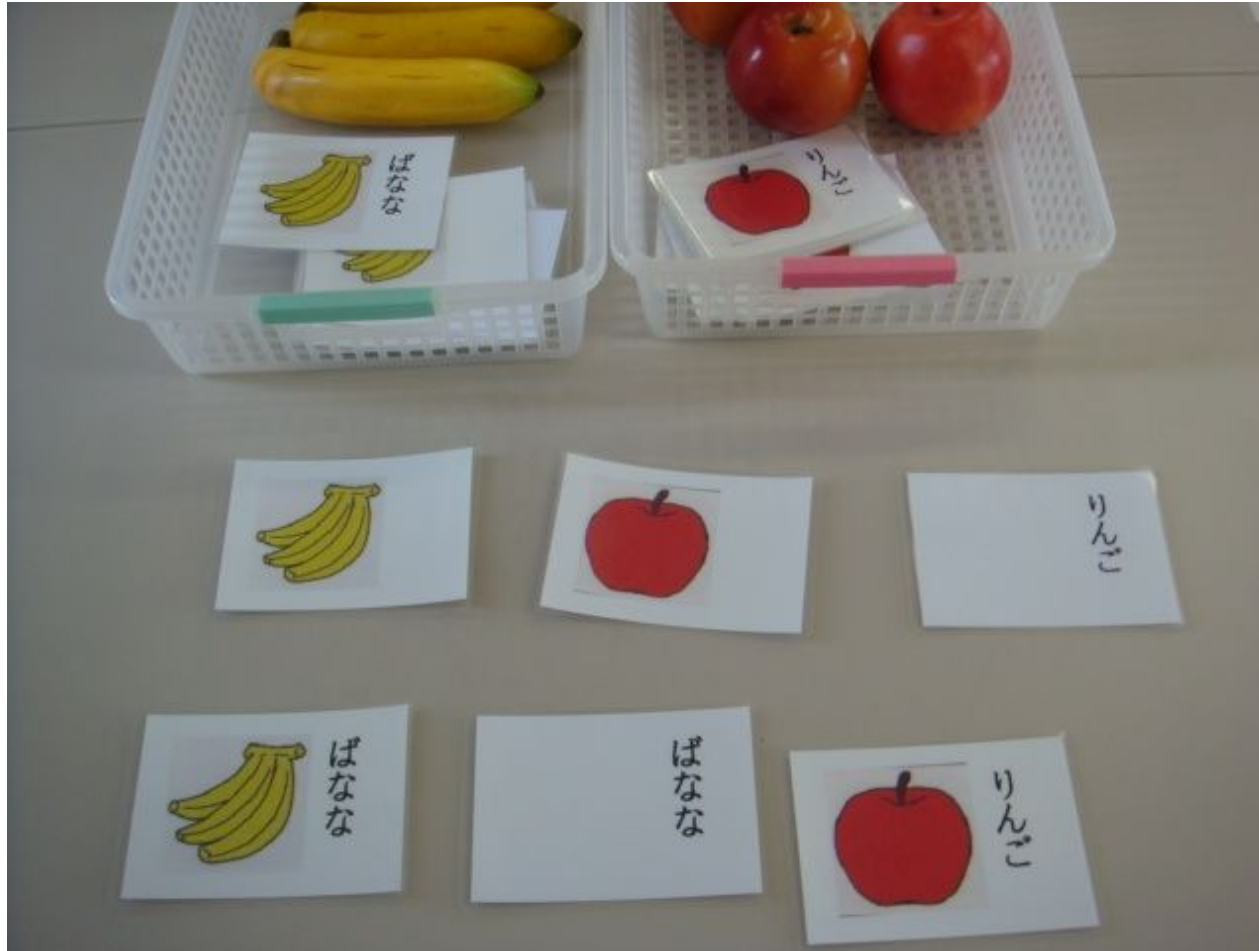


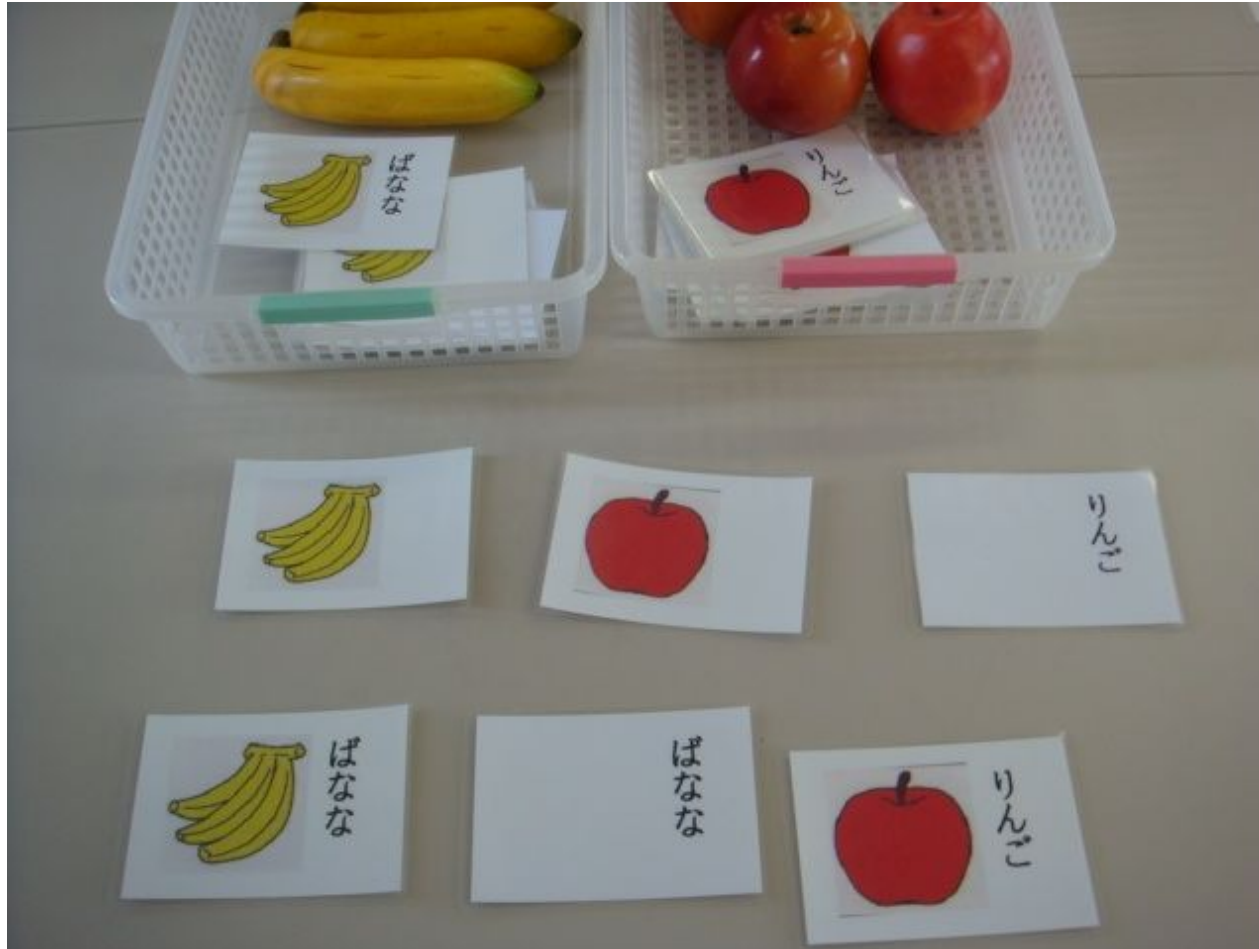






















特別支援教育にかかわる 素朴な疑問

- 医療・専門機関では、どんなことが行われているか？
- 「保護者の無理解」「保護者の理解」って一体何？
- 「保護者連携」の具体的な中身は？
- 「個に寄り添うこと」と「個別指導」は、同じことか？
- 学校・園 どこまで個別化が可能か？
- 専門家につないだあと、学校・園では何をしたらいいのか？

「家庭」「学校・園」「専門機関」の果たす機能

【家庭】

- ・ 肉親としての深い絆と切実な願い
- ・ 生涯子どもと共に生きる（自立・社会参加）
- ・ やすらぎとありのままの気持ちのやりとり

【学校・園】

- ・ 1年1年の教育内容に対する責任 教育的な愛情
- ・ オフィシャルな教育機関 集団としてのダイナミズム
- ・ クラスや集団に対する所属感と誇り 希望と可能性

【専門機関】

- ・ リスクや実態を公正な軸でシャープに切り取る（医療）
- ・ 診断 → 系統化されたプログラムを実施（療育）
- ・ 実態や特性に合わせた、スモールステップ（個別指導）

個の特性理解に応じた実践事例 ①

「太郎君の和太鼓」(保育園→小2)



個の特性理解に応じた実践事例 ①（保育園→小2） 「甘やかさない、方向性の明確さが子どもを変える」

子どもの認知特性は発達に伴い変化する

- 入力の優位性（視覚・聴覚）
- 認知処理様式（同時処理・継次処理）
- 認知の優位性（平面認知・空間認知）

臨床実践者＝何かの枠組みにあてはめて理解しよ
するのではなく、仮説を立て、実践の中から帰納的
に子ども理解を深めていく営みが大切

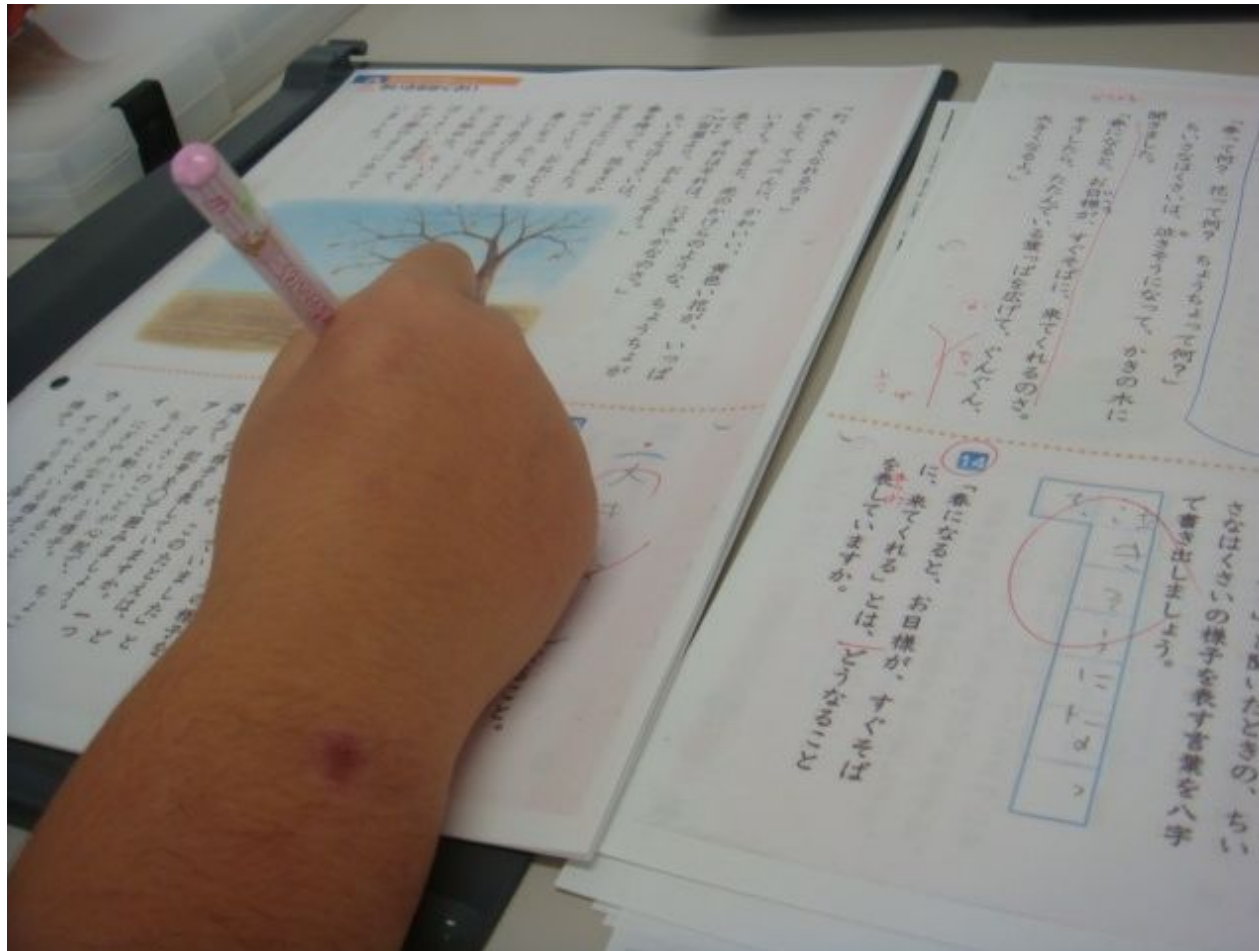
個の特性理解に応じた実践事例 ② (小2→小3) 「計算ができ、文字が書けるようになった花子ちゃん」



個の特性理解に応じた実践事例 ② (小2→小3) 「継次処理の特性に合わせた感覚統合の種まき」

- えっ？ さいころの目が読めないの？
- 「大」という字が書けない、「弓」という字が書けない
- 「私ね、大きい音だと頭が痛くなるの」
- 「黄色いバケツ」の衝撃 → 「少年と子ダヌキ」へ
- 「口」「日」「目」「貝」「見」「田」「男」・ 漢字書字系統表
- 花子流書き順攻略法
- 認知力を高めるスモールステップ
- たし算、ひき算の攻略
- 九の段だけスラスラ言える！？
- 脳のネットワークが音を立ててつながる瞬間

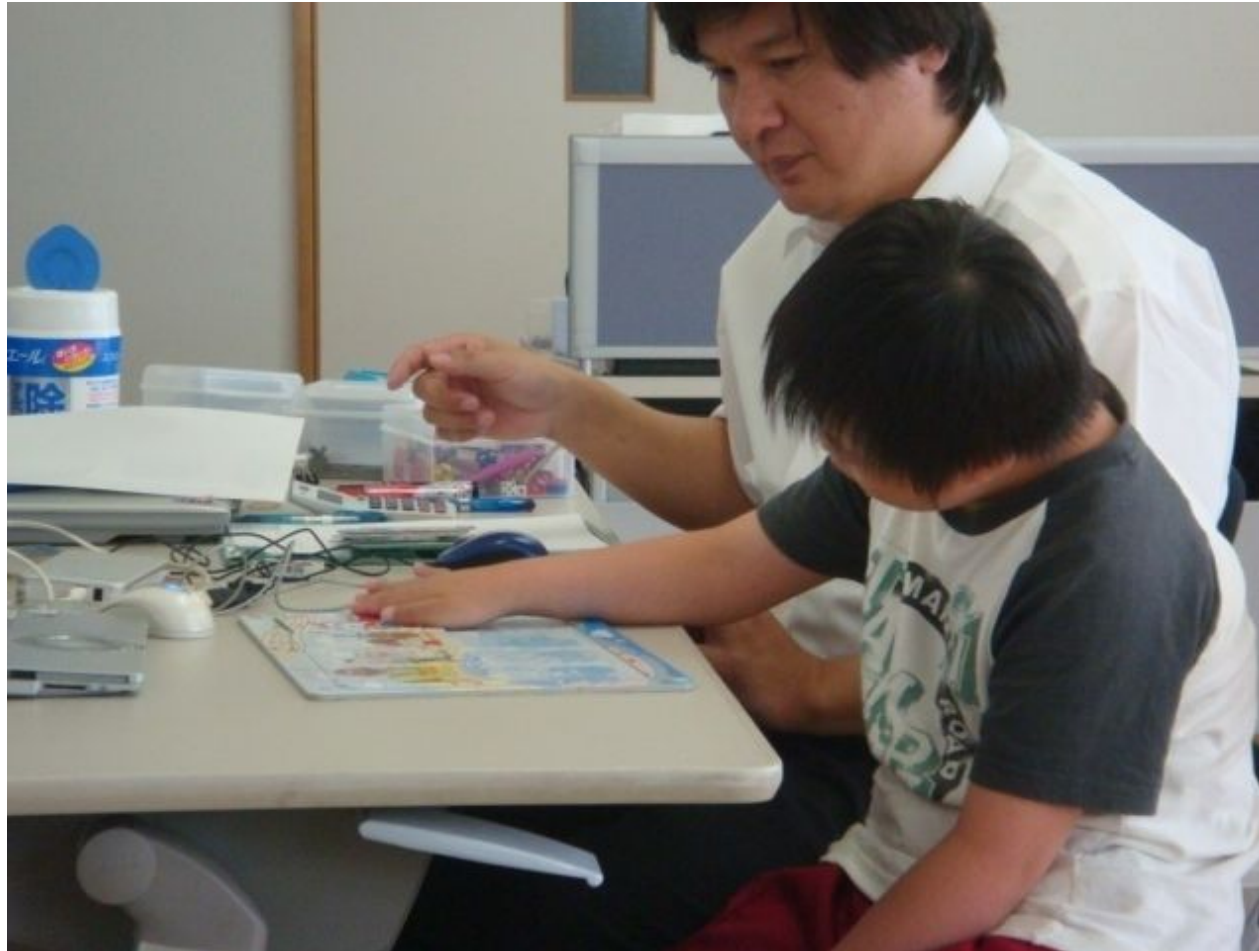
個の特性理解に応じた実践事例 ③ (小4→小5) 「読解問題ができるようになってきた友里ちゃん」



個の特性理解に応じた実践事例 ③（小4→小5） 「二系統同時刺激と継次的な読解支援法」

- 「丸読み」でパニック 120枚の漢字カードを順に覚える
- 文字をまとまりで見ることができない
- がんこ→ ここは勉強がわかるから楽しい！
- コミカルなお話（聴覚のメモリーを生かす）
- 書店で物語を買った記念日
- 一つでもわからない言葉があると、後はヤマカン
- ひとつぶずつ ごはんつぶをつぶす方が早い
- 選択問題なら、おまかせ（長所活用型 × 穴埋め）
- 50円のピーマンを10円玉5個に見立てる
- 週2回 90分の個別読解指導
- 「赤いボールは、ずんだ」？ → 理解言語を増やす

個の特性理解に応じた実践事例 ④ 「着席して勉強するようになったともや君」(小4)



<http://shinobu1.blog117.fc2.com/blog-category-18.html>

個の特性理解に応じた実践事例 ④ 「行動改善に向けた理論とバイパス行動」

体調が悪い。
おもしろくない。
かまってほしい。
別の事したい。



うるさい。暑い。
もうがまんでできない。
むずかしそう。
たいくつだ。



立ち歩く。物を投げる。
大声を出す教室を飛び出す。
服を脱ぐ。



やらなくてすんだ。
結構目立った。
すっきりした。
得した。

① 先行要因

② 直前のきっかけ

③ 問題行動

④ 結果事象

アンテナを張る。
情報を得る(引き継ぎ)先手を打つ。
作戦考。



地雷を除去する。
環境を整える。
展開を工夫する。



迎合しない。
得をささない。
別の方法を教えて強化する。



ちゃんと先生に伝えれば、わかってくれる。

「いくつかのエピソードから見えてくること」

- 「やりたくない」は「できるようになりたい」の裏返し
(中3 まさと君)
- 誰かのために何かのできる子に (小6・健太のヘッドスライディング 重度の課題をもつ子どもたち)
- 「落ち着けばそれでいいとは思わない。あきらめるくらいなら死んだほうがまし」(花子ママ)
- 「しいたけ品評会 全国大会入賞」(卒園児)

畑を耕し種をまく営み / 花を咲かせ実をつける営み

「引っ張り上げる教育」 / 「積み上げる教育」

自分の長所や個性に 何を取り入れるか？

移りゆく発達の流れの中で 問われる指導者の姿勢

巡回相談の実践の中から～